

データシート

ARUBA CENTRAL

ブランチ、キャンパス、リモート、データセンターのネットワーク向けのAI 応用クラウド管理型ネットワーク

Aruba Central は、今日の IT オペレーションに比類なきシンプルさをもたらす強力なクラウド管理型ネットワーク・ソリューションです。Aruba ESP (エッジ・サービス・プラットフォーム) の管理/オーケストレーション・コンソールとして、Aruba Central では、キャンパス、ブランチ、リモート、データセンター拠点全体において有線/無線 LAN、WAN、VPN に関するあらゆる状況を単一の管理画面で監視できます。

AI 応用アナリティクス、エンド・ツー・エンドのオーケストレーションと自動化、高度なセキュリティ機能が、ソリューションにネイティブで組み込まれています。ライブ・アップグレード、堅牢なレポート、ライブ・チャット・サポートも含まれており、日常的なメンテナンス・アクティビティに優れた効率性をもたらします。

クラウドネイティブなマイクロサービス・アーキテクチャを基盤とする Aruba Central は、拡張性や耐障害性における企業の要件に応えます。また、直感的なワークフローやダッシュボードを採用しており、IT スタッフが限られた SMB に最適です。このソリューションは、HPE GreenLake と統合し、一貫したオペレーティング・モデルに加え、IT 担当者がコンピューティング、ストレージ、ネットワーク・インフラストラクチャを表示・管理できる単一のプラットフォームを提供するため、比類なき効率性を実現し、コスト管理を向上させることができます。

合理化されたネットワーク・オペレーション

Aruba Central を導入すれば、連携していないドメイン固有のネットワーク管理ツールの非効率的な使用から解放されます。有線/無線 LAN のネットワーク、または WAN のパフォーマンスの分析・向上に役立つクイック・インサイトを提供するネットワーク状態サマリー・ダッシュボードがスタート・ポイントとなります。

この単一のダッシュボードから、IT オペレーターは、全体的な情報とサイト・レベルの詳細の可視化により、ネットワークの状態を簡単に評価できます。サイトを選択すると、その拠点固有のネットワーク・デバイスと接続クライアントのみを表示するインターフェイスに切り替わります。この画面から IT オペレーターは、潜在的な問題を迅速に特定し、直ちに注意が必要な特定の拠点に注力できます。

シンプルなオンボーディングとプロビジョニング

ネットワーク・デバイスのオンボーディング、構成、プロビジョニングは、どのような環境においても重要な作業ですが、時間がかかり複雑なものとなる場合があります。Aruba Central は、直感的なモバイル・インストーラー アプリがサポートする、簡単セットアップ・ウィザード、柔軟な構成オプション、ゼロタッチ・プロビジョニングによりこのプロセスを高速化します。

主な特長

- ・ 有線、無線、VPN、SD-WAN の統合管理によるシンプルなオペレーション
- ・ AI ベースのインサイトによる迅速なトラブルシューティングと継続的なネットワーク最適化
- ・ Aruba UXI との統合によりエンドユーザー・エクスペリエンスをプロアクティブに監視・向上
- ・ インテントベースのポリシー・エンジンとアクセス制御により広範囲にセキュリティを強化・簡素化
- ・ インラインのクライアントのプロファイリングとテレメトリにより IoT に関連付けられた可視性のギャップを解消
- ・ リモートまたはホーム・オフィスのネットワークの強力な監視とトラブルシューティング
- ・ API や Webhook により、お客様環境における他の業界有数の IT プラットフォームをサポートして価値を向上
- ・ ライブ・チャットや AI ベースの検索エンジンによりサポート・エクスペリエンスを強化
- ・ SaaS、オンプレミス、マネージド・サービスといったオプションによる柔軟な活用とお支払い

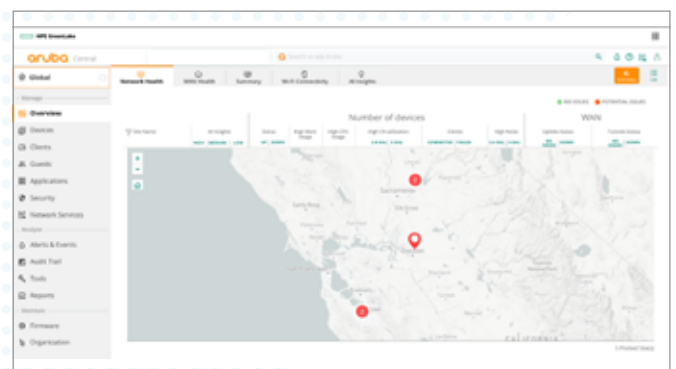


図1: ネットワーク状態サマリー

ガイド型セットアップ・ウィザード

セットアップ・ウィザードはアカウント・サブスクリプションの追加、注文からデバイス・インベントリの同期、デバイスへの購入ライセンスの割り当てを自動で行います。これにより時間の節約や精度の向上に加え、環境へのデバイスのオンボーディングまたは交換が簡単に行えます。



柔軟な構成オプション

デバイス構成を簡素化するために、Aruba Central は、テンプレートと、ガイド型段階的ワークフローの UI オプションを使用します。構成要件が共通するデバイスの場合、ネットワーク管理者は、グループ化を使用して多数のデバイスがあるグループでも設定を瞬時に適用または変更できます。

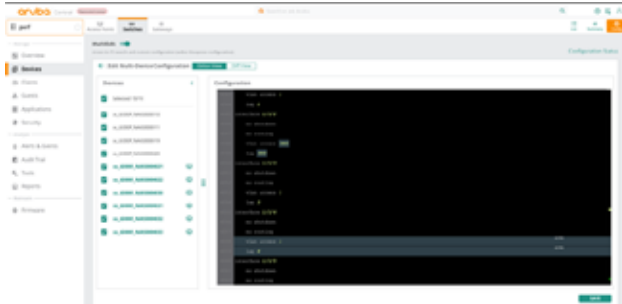


図2：複数の Aruba CX スイッチを構成できるマルチエディター

Aruba CX スイッチでは追加のオプションも用意され、事前設定済み簡単構成により、ネットワーク全体の変更をいくつかのプロンプトに従って入力するだけで完了できます。マルチエディターでは、より高度な構成も可能です。どちらのオプションもデバイス検証を内蔵しており、ネットワーク管理者に、速やかに変更を計画、テスト、展開できる機能を提供しながら、コモン・クライテリアや既存のポリシーへの適合も確認します。

ゼロタッチ・プロビジョニング

ゼロタッチ・プロビジョニングは、AP、スイッチ、ゲートウェイにシンプルかつ直感的なワークフローを提供します。オンサイトの IT 担当者の介入は不要です。構成パラメータは、ネットワークまたはサイト固有の要件に基づいて Aruba Central 内で定義できます。開始するには、デバイスを接続し、電源を入れるだけです。デバイスが起動すると、Aruba Central に接続し、自動的にクラウドから実行構成を受け取ります。

モバイル・インストーラー・アプリ

デバイスのインストールや、信頼されたリソース、またはサードパーティ・サービス・プロバイダーへのデバイスの導入はモバイル・インストーラー・アプリが引き受けます。このアプリで各 IT リソースのアクセス権限を定義できます。また、デバイスがスキャンされ、割り当てられたネットワークに追加されてオンボーディング・プロセスを進めることができます。続いてゼロタッチ・プロビジョニングプロセスが使用され、各デバイスのステータスは、Aruba Central インストーラー・ダッシュボードで瞬時に更新されます。

サポートされるネットワーク・デバイス

Aruba Central は、広範な Aruba 無線 AP、スイッチ、ゲートウェイ (旧称「コントローラー」) の管理を提供します。無線ネットワークの場合、Aruba Central はゲートウェイを使用した導入、または使用しない導入どちらもサポートします。

[対応デバイスの完全リストはこちら。](#)



図3：ライブ・チャット・サポート付き AI 検索

AI 応用型の監視とトラブルシューティング

ネットワークまたはビジネスに影響する問題が発生した場合、迅速な検出、原因の特定、解決が環境の安定の維持に不可欠です。Aruba Central は、24 時間週 7 日、ネットワーク、アプリケーション、クライアント・デバイス、エンドユーザー・エクスペリエンスのインテリジェントな監視を行い、すべては強力な視覚表現とダッシュボードに関連付けられます。

有線、無線、WAN の AIOps

Aruba Central には、一般的なトラブルシューティング・アクティビティを自動化し、IT サポート・チケットや関連コストを削減するフルサービスの AIOps ソリューションが含まれます。Aruba の AIOps ソリューションは、あらゆる業界、市場セグメント、ネットワーク・タイプにおける数万の Aruba のお客様から収集されたネットワーク・パフォーマンス・データにより一貫してトレーニングされた機械学習モデルをベースにしています。

AIOps ソリューションの主要コンポーネントには以下が含まれます。

- **AI インサイト:** 条件の変化に応じて継続的に調整される動的なサイト単位のベースラインを使用して、ネットワークに影響する一般的なさまざまな問題を自動的に表面化させ、診断します。手動のセットアップやサービスレベルしきい値の調整は必要ありません。内蔵の異常検出機能は、問題の重大性と発生した場合の影響を評価し、IT チームは原因を特定し、95% の精度で適切な解決手順を取ることができます。
- **AI 検索:** ソリューション・ガイド、トラブルシューティングのヒントなどを案内する Aruba Central データレイクの自然言語処理 (NLP) エンジン。オペレーターがデバイス構成のベストプラクティスを模索する、または特定のユーザーに影響する問題を隔離する必要がある場合などにおいて、AI 検索は、デイ 0 ~ デイ 2 オペレーションを簡素化する、高速かつインタラクティブな対応を提供します。
- **AI アシスト:** イベントドリブンの自動化を使用して診断情報の収集や共有拠点への診断情報の配信を行い、さらには Aruba TAC に通知してプロアクティブなカスタマー・サポートを提供することもできます。



手動のトラブルシューティングを排除しているため、問題解決の時間を最大 90% 短縮できます。お客様は、匿名のピア・ベンチマークも利用できます。これは、お客様のネットワークと類似した特徴をもつサイトのパフォーマンス・レベルに基づいて最適な構成設定を提供します。最大 25% キャパシティを向上できるケースもあります。

最後に、**自己修復ワークフロー**は、必要に応じて自動的に構成を更新し、人的介入の必要性なく IT チームは問題を解決できます。

その他の監視機能

監視機能として、状態と分析の詳細なダッシュボードも用意されています。

- **ネットワークの状態とアシュアランス:** ネットワーク全体のパフォーマンスを幅広く可視化したり、特定のサイトに絞って、デバイスの使用状況、構成コンプライアンス、その他の統計情報を確認したりできます。
- **アプリケーションの可視化:** ネットワーク全体のアプリケーションの状態を監視し、サイト、デバイス、または拠点別に使用状況を追跡・制限しながら、重要なサービスが優先トラフィックを受信できるようにします。
- **UCC 分析:** 平均オピニオン評点 (MOS) による VoIP アプリケーションの稼働状況と、潜在的な RF パフォーマンスやキャパシティの問題に関するインサイトの統合ビュー。
- **クライアントの状態:** ネットワークに接続されたデバイスに関するさまざまな情報を表示します。これには、クライアント・パフォーマンスのインサイト、接続ステータス、接続場所、データ・パスが含まれます。
- **AI ベースの接続インサイト:** DHCP、DNS、認証エラーなどに関連した潜在的な Wi-Fi 接続問題を自動的に特定します。

有線ネットワークの場合、IT オペレーターは、個別のスイッチとスタック・スイッチの状態と使用状況が可視化できます。これにはポート状態、PoE 使用、VLAN 割り当て、デバイスおよびネイバー接続、電源状態などが含まれ、内蔵アラートとイベントにより有線ネットワークのトラブルシューティングもスムーズに行えます。

内蔵トラブルシューティング・ツール

トラブルシューティング機能には、ライブ・イベント、パケット・キャプチャ、ログ、豊富なコマンド・ライン ツールが用意されています。Ping テストやトレースルートといった診断チェックも利用でき、Aruba インフラストラクチャのデバイスレベルのパフォーマンス・テストも可能です。

ユーザー・エクスペリエンス・インサイト統合

Aruba ユーザー・エクスペリエンス・インサイト (UXI) は、エンドユーザーの観点から測定することにより、IT チームはアプリケーションとネットワークの状態の理解を深めることができます。UXI センサーは、有線、無線、WAN のパフォーマンスの継続的な監視・テストを行い、異常が検出されると Aruba Central ネットワーク状態ダッシュボードに直接報告します。問題が検出されると、IT チームは迅速に任意の拠点において全体的、または断続的な問題を特定でき、完全な UXI ダッシュボードにアクセスして高度なトラブルシューティングが実行できます。



図4: AI ベースの Wi-Fi 接続インサイト

特許取得済み無線最適化機能

クラウドや IoT に加え、8K 動画ストリーミングや AR/VR といった新しいアプリケーションは、Wi-Fi ネットワークにフレッディングを引き起こしています。クライアントの接続に干渉する建物の悪条件と相まって、これらの帯域幅を多く消費するアプリケーションは、ネットワーク・パフォーマンスやエンドユーザー・エクスペリエンスに悪影響を及ぼす可能性があります。

Aruba Central は、独自の多数の AI 応用機能を調整し、常に最適な Wi-Fi ネットワーク・パフォーマンスを維持します。

SLA グレードのアプリケーション QoS

Air Slice でパフォーマンスを確保し、ユーザー・エクスペリエンスを最適化します。時間、周波数、空間ストリームなどのラジオ・リソースを動的に割り当てることにより、Air Slice は、AR/VR、Zoom、Slack などのレイテンシーの影響を受けやすいアプリケーションや高帯域幅を消費するアプリケーションに加え、IoT デバイスのパフォーマンスを確保できます。

自動 RF 管理

AirMatch で無線環境とカバレッジ制御を向上させます。AI と機械学習を使用することにより、AirMatch はネットワークにおける定期的な RF データを分析し、構成上の変更があればそれをすべての導入済み Aruba AP に適用します。AP は、環境条件の変更に基づいて更新が動的に適用されます。



クライアント接続の最適化

ClientMatch により、ラジオやローミングの従来技術を強化します。Wi-Fi 6 および Wi-Fi 5 の接続を継続的に強化し、クライアントのスティッキー問題を解消する、特許取得済み RF 最適化技術です。

屋内セルラーのギャップを解消

Air Pass* でセルラーと Wi-Fi をシームレスにハンドオフ。主要モバイル・ネットワーク・オペレーターと Wi-Fi certified Passpoint® 規格との交渉済み合意により、Air Pass はキャプティブ・ポータル、ユーザー名、パスワードの必要性を排除し、ゲストに優れたエクスペリエンスを届けながら、DAS にかかるコストや管理のオーバーヘッドを軽減します。

エッジ・ツー・クラウドで広範囲にセキュリティを自動化

ハイブリッド・ワークプレイス・イニシアチブ、IoT、エッジ・コンピューティングにより、ネットワークはますます複雑になっています。一方で、新しいセキュリティの弱点は日々出現しています。結果として、静的な VLAN、ACL、サブネットをすべてのネットワーク・ホップで手動で構成するのは、昨今の分散した企業を保護するには実用的ではなく、拡張性にも乏しいです。

ネットワーク・セキュリティをより強固に、IT オペレーションをよりシンプルにするために、Aruba Central NetConductor は、高度なクラウドネイティブの構成、管理、セキュリティ機能を提供します。セキュリティ機能には、インテントベースのポリシー自動化とオーケストレーション、直感的なネットワーク・アクセスと認証の制御、接続されたすべてのクライアントの AI ベースの検出とプロファイリングがあります。

グローバル・ポリシー自動化とオーケストレーション

Aruba Central 内のポリシー・マネージャーにより、IT チームは、従業員、契約業者、ゲスト、デバイスのユーザー・ロールを適切なアクセス権限に自動的に割り当てる UI 主導のインテントベースのワークフローを使用しながら、広範囲にグローバル・ポリシーを簡単に定義・維持できます。

続いて IT オペレーターは、Aruba Central 内のファブリック・ウィザードを使用して複雑な CLI プログラミング不要で論理オーバーレイを自動的に作成し、固有のポリシーを有線、無線、WAN のインフラストラクチャ全体に適用することができます。

ファブリック対応 Aruba ゲートウェイやスイッチといったネットワーク・デバイスは、グローバル・ポリシー識別子を使用して、インライン・ポリシー適用と調査を実行します。こうした形態のポリシー適用により、アプリケーション・トラフィックを別のセキュリティ・アプライアンスに転送する

必要はないため、ネットワーク・レイテンシーを軽減できます。ネットワークの保護、パフォーマンス、ユーザー・エクスペリエンスにおいて妥協はありません。

ユーザーとデバイスの認証

「クラウド認証」として知られるこの機能は、IT チームによるネットワーク・アクセスの制御方法をさらに簡素化すると共に、接続する必要のあるエンドユーザーに摩擦のないエクスペリエンスを提供します。IT 管理者は、許可されたクライアント MAC アドレスを Aruba Central にアップロードするか、Google Workspace または Azure Active Directory といった一般的なクラウド・アイデンティティ・ストアとの統合によりユーザーを認証して適切なレベルのネットワーク・アクセスを自動的に割り当てることができます。また、クライアント・デバイスは、macOS、Windows、iOS、Android オペレーティング・システムをサポートするアプリケーションを使用して、シームレスにオンボーディングできます。

クライアント認証は、ネットワークの動作や使用状況に関するインサイトも提供します。Aruba Central の関連する監視ダッシュボード内で、管理者は、トラフィック・パターン、アクセス要求、接続セッションなどを可視化でき、IT チームは継続的にセキュリティ・ポスチャを洗練させ、強化することができます。

Ai ベースのクライアント・プロファイリング

Aruba Central は、すべてのクライアントの ML ベースの分類を提供しており、モバイル・デバイスと IoT デバイスにしばしば起こる可視性のギャップを埋めています。「クライアント・インサイト」として知られるこの機能は、不明なデバイスがネットワークに接続された可能性がある場合、既知のクライアントと MAC の範囲分類のクラウドソーシングされたフィンガープリントとの動的比較を使用します。

このサービスを通じて、Aruba Central は、ディープ・パケット・インスペクションを使用して、有線または無線のネットワークで実行しているすべてのデバイスを自動的に分類し、追加のコンテキストと動作情報を提供することにより、デバイスに適切なポリシーが適用されるようにします。

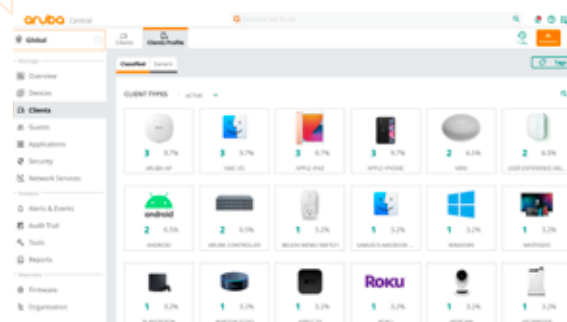


図5：モバイル & IoT デバイスの可視化による正確なポリシー使用

*注：Air Pass は現在、米国でのみ提供されています。



柔軟なテクノロジーにより移行は簡単に

Central NetConductor は、EVPN/VXLAN といった幅広く採用されているプロトコルを使用してインテリジェントなネットワーク・オーバーレイを構築します。これにより、オーバーレイは、リモートやブランチの拠点からキャンパスやグローバル企業にいたるまで、すべてのドメインにおけるさまざまなネットワークにおいて迅速に導入でき、ネットワークをお客様のペースでモダン化できる柔軟性と自由な選択により、モダンな可視化、認証、セキュリティ・サービスのメリットを提供します。技術的な中断や、コストのかかるインフラストラクチャの入れ替えはありません。

注：Central NetConductor 内の一部の機能は、一般的に 2022 年後半に提供されます。詳細については、Aruba 営業担当者までお問い合わせいただくか、[Central NetConductor ソリューション・ページ](#)を参照してください。

その他のセキュリティ機能

セキュアな無線セグメンテーション

マルチテナンシー・オペレーションを必要とするモールや空港などの施設に、追加のアクセス・ポイントを導入する必要なく、MultiZone は、セキュアな SSID 分離を可能にします。MultiZone の主なユースケースは、別の無線ネットワークを導入・管理するコストや複雑さなく、あまりセキュアでない IoT デバイスを他のエンタープライズ・トラフィックと分離させることです。

侵入検出

Aruba Central は、Aruba の不正 AP 侵入検出サービス (RAPIDS) を使用して不正な AP やクライアントによる問題を特定・解決します。有線・無線データは自動的に関連付けられ、潜在的脅威の識別、ネットワーク・セキュリティの強化、誤検知の削減によるインシデント対応プロセスの向上に活用されます。

Web コンテンツ・フィルタリング

Web コンテンツ分類 (WebCC) は、コンテンツのカテゴリ別に Web サイトを分類し、レピュテーションとリスク・スコア別に評価することにより、IT チームは悪意のあるサイトをブロックできるため、フィッシング、DDoS、ボットネット、その他の一般的な攻撃を防止できます。

SD-BRANCH オーケストレーション

旧式の WAN ソリューションを使用した、ブランチやその他のリモート拠点の接続は、コストがかかり複雑です。Aruba SD-Branch は、ユーザー・エクスペリエンスを強化しながら、WAN 管理を簡素化できます。Aruba SD-Branch のクラウドベースの管理コンソールとして機能する Aruba Central により、IT チームは、仮想、ヘッドエンド、ブランチのゲー

トウェイを一元的に管理し、MPLS、ブロードバンド、セルラー・リンク上でトラフィックをルーティングできます。

Aruba Central は以下も提供します。

- ・ サイト別にゲートウェイの視覚表現と詳細を表示する統合トポロジー・ビュー。
- ・ WAN 回線の状態、使用可能な帯域幅、各サイトのトンネルのステータスの監視。
- ・ SaaS アプリのエクスペリエンスの品質 (QoE) スコアと原因分析のドリルダウン。
- ・ ブランチやデータセンターにおいてルーティング設定を管理する WAN オーケストレーション。
- ・ パブリック・クラウドでホストされているゲートウェイに直接ポリシーを適用する仮想ゲートウェイ管理。
- ・ AWS Transit Gateway Network Manager と Microsoft Azure Virtual WAN との統合の合理化された管理。
- ・ IDS/IPS、脅威インテリジェンス・データ、インシデント管理機能による相関を提供する高度なセキュリティ・ダッシュボード。

詳細については、[SD-WAN データシート](#)を参照してください。

リモート・ワーク機能

Aruba Central により、IT チームは、企業のアプリケーションやサービスにアクセスする必要のある、数千のリモート・ユーザーをサポートするために必要なネットワーク・インフラストラクチャの拡張、監視、保護が簡単に行えます。面倒な手動のセットアップは不要です。オプションとして、Aruba アクセス・ポイントを使用して [Aruba EdgeConnect Microbranch ソリューション](#)を導入でき、オンキャンパスの接続、サポート、セキュリティ・エクスペリエンスをスモール・オフィス、ホーム・オフィス、臨時の拠点にオンプレミスのゲートウェイ不要で提供できます。データセンターで導入される Aruba ゲートウェイ、またはリモート・ワーカーをサポートするパブリック・クラウド・インフラストラクチャに接続するプラグ & プレイの Virtual Intranet Access (VIA) VPN クライアントも使用できます。

従業員が接続すると、IT チームは、VPN に接続している従業員含め、ユーザーに影響を及ぼす問題を一元的に監視し、トラブルシューティングを行うことができます。クライアント・データ・パス、帯域幅の使用、VPN トンネルの状態などのインサイトが利用できます。

問題のプロアクティブな通知により、IT チームは、障害の原因を正確に突き止め、これにより、ヘルプデスクへの問い合わせを削減し、ユーザーの中断を最小限に抑えることができます。



AOS 10 の Aruba EdgeConnect Microbranch 機能により、IT チームは、WAN オーケストレーションやポリシーベースのルーティング機能に加え、Zscaler などのプロバイダーによるクラウド・セキュリティ・ソリューションとの統合を利用することもできます。こうして構築されたマイクロブランチ・アーキテクチャは、ハイブリッド・ワーカーによる接続の管理方法を大きく簡素化し、強化されたパフォーマンス、信頼性、セキュリティを最小限のオーバーヘッドでリモート拠点に提供します。

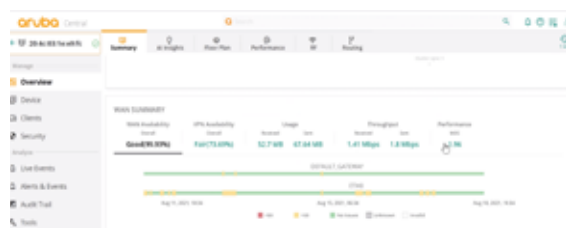


図6：リモート・ワーカーに影響する WAN または VPN の問題を簡単に検出

オペレーションを IOT に拡張

Aruba Central は、統合ダッシュボードとアプリ・ストアで IoT オペレーションを簡素化します。ダッシュボードは、AOS 10 を実行する Aruba アクセス・ポイントに接続されている BLE や Zigbee のデバイスにもネットワークの監視とインサイトの機能を提供します。IT と IoT を同じネットワークで管理できます。

統合アプリ・ストアは、しばしば特殊なコンポーネントやスキルを必要とする、新しい IoT サービスの導入の複雑さを軽減します。Aruba Central により、お客様は、簡単なクリック操作で、業界有数の IoT パートナーからベスト・オブ・ブリード (最適な組み合わせ) のアプリをシームレスにダウンロードし、導入することができます。

レポート機能とメンテナンス

堅牢なレポート機能

Aruba Central は、プレミアムグレードのレポート機能を備え、これはベース・ライセンスのサブスクリプションに含まれています。レポートは、デバイスの接続、ネットワーク状態、キャパシティ・プランニングに関する情報が記載され、基準を作成し、ネットワークのさまざまなサイトにおいてユーザー・エクスペリエンスを比較する機能も用意されています。レポートウィザードも用意されており、定期レポートの設定や、オンデマンドでレポートを作成することができます。ネットワークやアプリケーションの状態、スループットと使用状況データ、デバイスとクライアントのインベントリ、アクティビティ監査などその他多数の情報を提供します。

ライブ・アップグレード

ネットワーク・デバイスのファームウェア・アップグレードには、しばしばダウンタイムまたはサービスの中断が伴います。こうした場合、IT チームはしばしば時間のかかる CLI

ベースのプロセスに頼ったり、カスタマー・サポートに連絡してアップグレードをサポートしてもらう必要があります。

Aruba Central は、GUI ベースのワークフローにより導入ネットワーク・デバイスのファームウェア・アップグレードを行う非常にシンプルなアプローチを採用しています。メンテナンス時間を抑え、継続的なオペレーションを確保するライブ・アップグレードも機能の一つです。アップグレードはサイト・レベルで実行でき、稼働時間のピーク時を避けてスケジュールを設定することも可能です。最後に、ファームウェア・コンプライアンスを管理するルールもすべてのマネージド・デバイスに対し、Aruba Central UI 内で管理できます。

API と WEBHOOK による拡張性

Aruba Central は、API と Webhook により、他の業界有数の IT プラットフォームやソリューションを使用できる拡張性にも優れており、ネットワーク自動化フレームワークを展開するお客様に最適です。Aruba Central からデータがこれらのサードパーティ製ソリューションに自動的に送信されるため、ネットワーク・オペレーターは、特定のイベントまたは条件に基づいてアクションを実行するプログラムを組むことができます。ServiceNow での IT チケットの作成や、Ansible を使用した数百のネットワーク・デバイスにおける構成変更の調整など、複数のシステムにまたがる一般的なワークフローはさらに自動化できます。

FEDRAMP 認定

Aruba Central は、Federal Risk and Authorization Management Program (米国連邦リスクおよび承認管理プログラム、FedRAMP) により、「Authorized (承認済み)」として認定されています。FedRAMP といった強力な保証となる認定により、米国の政府機関や参加している地方自治体および教育機関 (SLED) の IT 部門など、すべての会社または組織は、Aruba Central のクラウドベースのサービスを安心して導入でき、オペレーションの簡素化、IT コストの削減、組織の優れた価値の創出を実現できます。

Aruba Central が御社のセキュリティとデータ・プライバシーの要件にどのように適合できるかについての詳細は、[技術概要](#)を参照してください。

自由な導入と管理

Aruba Central は、SaaS、オンプレミス、マネージド・サービスの導入モデルが用意されており、技術、従業員、財務におけるさまざまな要件に合わせた自由な選択と柔軟性を提供します。

オンプレミス導入

Aruba Central オンプレミスは、クラウドのアジリティと効率性は魅力的ながらも規制またはコンプライアンスの厳格な要件に適合する必要があるお客様に最適です。レガシー・ネットワーク設計のお客様の場合も、クラウドの導入が一時的に制限されることから、このオプションが有効である場合があります。



Aruba Central オンプレミスは、専用サーバー・アプリケーションによりサポートされ、3、5、7 のノード・クラスターで利用でき、エンタープライズクラスの拡張性と耐障害性に優れています。より小規模な導入向けに 1 ノード オプションも用意されています。サポート機能、アプリケーションの仕様、注文の詳細については、以下の表 1、2 をご覧ください。購入に関するその他の情報は、[Aruba Central オンプレミス注文ガイド](#)をご覧ください。

Aruba Central オンプレミスのインテリジェント・オペレーション

Aruba Central オンプレミスのインテリジェント・オペレーションは、オペレーションとお支払いの柔軟性に優れています。このサービスでは、Aruba Central オンプレミスをサポートするハードウェアとソフトウェアのサブスクリプションベースの使用を提供し、Aruba テクノロジー・エキスパートによる構成、管理、継続的な最適化が行われます。

Aruba Central オンプレミスのインテリジェント・オペレーションは、クラウドのような柔軟性を提供し、社内 IT 担当者のオーバーヘッドを大幅に軽減します。これにより、IT 効率を向上させ、予算を最大化し、摩擦のないサービス・デリバリーにより最適なネットワーク・パフォーマンスを確保するエンド・ツー・エンドのソリューションとなります。

Aruba Central オンプレミスのインテリジェント・オペレーションは、GreenLake for Aruba サービスにおいて、またはサポート付きスタンドアロン型プロフェッショナル・サービスとして利用することができます。詳細については、以下の表 1 ~ 3 を参照するか、Aruba 営業担当者までお問い合わせください。

シンプルかつ柔軟な活用

以前は「ライセンス」と呼ばれていた、ソフトウェア・サブスクリプションにより、Aruba Central 内でさまざまな管理機能が利用できます。デバイス単位で購入できます。サブスクリプションは、1、3、5、7、10 年単位で利用できるため、AI Ops、セキュリティ、その他の希望の管理機能の要件と現在、そして未来の予算のバランスを取ることができます。

Foundation サブスクリプション

Foundation サブスクリプションは、キャンパス、ブランチ、リモート、データセンターのネットワークの主要なすべてのエンタープライズ機能を提供し、監視、レポート機能、トラブルシューティング、オンボーディング、プロビジョニング、オーケストレーション、AI と分析、コンテンツ・フィルタリング、ゲスト・アクセス、UXI 統合、24 時間週 7 日の TAC (すべてのハードウェアのソフトウェア・サポート含む) が利用できます。

Advanced サブスクリプション

Advanced サブスクリプションは、Aruba アクセス・ポイントとゲートウェイに用意されており、すべての Foundation 機能をカバーしつつ、強化された AI Ops やセキュリティに加え、エンド・ツー・エンドのセグメンテーション、広範な AI インサイト、UCC の可視化とレポート機能など、その他のプレミアム機能も提供します。

価値を最大化する新しいサブスクリプション オプション

Delayed Activation (遅延アクティブ化)、Co-termination (終了期間の統一)、ライセンス・アップグレードといった、柔軟な購入・活用オプションが用意されています。契約期間において Aruba Central サブスクリプションの利用と価値を最大化できます。

- **Delayed Activation (遅延アクティブ化):** サブスクリプションを購入してから後日 (最大 90 日) アクティブ化して、ネットワークの導入、拡張、またはその他の IT イニシアチブと足並みを揃えることができます。
- **Co-termination (終了期間の統一):** 複数のサブスクリプションの有効期限を同じ日に設定することにより、環境の刷新、予算プランニング、その他の管理タスクを簡素化できます。
- **ティア・アップグレード:** 契約期間中は、いつでも Foundation から Advance のサブスクリプションへとアップグレードして付加価値のある新しい機能を追加できます。新しい契約やライセンス・キーは不要です。

注: Delayed Activation、Co-termination、ティア・アップグレードは、2022 年 5 月より構成可能な SKU と共にサポートされます。Aruba Central SaaS サブスクリプションの詳細と注文方法については、Aruba 営業担当者までお問い合わせください。

ARUBA CENTRAL ヘルプ・センター

Aruba Central は、必要なときに必要な場所にコンテキストベースのアシスタンスを提供します。AI 検索の NLP エンジンには、Aruba Central ユーザー・インターフェイス内の拠点に基づいてクエリ結果を動的に調整し、IT 管理者に直接、役立つソリューション・ガイドを提供します。Aruba TAC に問題を自動的に通知できる AI アシスト機能に加え、24 時間週 7 日ライブ・チャット*により、リアルタイムでサポートします。

機能、構成、新しくサポートされた AP、スイッチ、ゲートウェイの詳細については、[Aruba Central ヘルプ・センター](#) にアクセスしてください。



AIRHEADS コミュニティ

Aruba の Airheads コミュニティは、ネットワーキング業界の専門的ユーザーとつながり、イノベーションを実現し、共有できる素晴らしい場所です。ディスカッション・フォーラム、専門家による記事、最先端のコンテンツにアクセスできます。詳細については、arubanetworks.com/airheads-community/ をご覧ください。

CUSTOMER FIRST, CUSTOMER LAST (最初から最後までお客様第一) のサポート

Aruba Central サブスクリプションの下で利用できる Aruba 製品は完全にサポートされ、以下が含まれます。

- 24 時間週 7 日、トラブルシューティングの優先テクニカル・サポート。
- Aruba Central のソフトウェアのアップデートとアップグレード、Aruba Central により管理されるすべての Aruba ハードウェア製品。
- Aruba Central により管理されるすべてのハードウェアの部品交換のアップグレード・オプション。これは、[Foundation Care for Aruba](#) 契約により提供され、翌営業日交換、または 4 時間オンサイト修理および交換サービスが用意されています。

ハードウェア交換オプションに加え、[Aruba Pro Care](#) オプションも追加できます。ケース管理の専用対応ポイントとして割り当てられた、シニア Aruba TAC エンジニアに迅速にアクセスでき、問題の対処や解決にかかる時間を短縮します。

Foundation Care や Aruba Pro Care の詳細については、こちらにアクセスしてください: <https://www.arubanetworks.com/support-services/>

設計、導入、移行、管理のサービス

Aruba プロフェッショナル・サービスは、Aruba のベストプラクティスに沿って専門的な監査、設計、導入、移行のサポートを提供する、[QuickStart Service](#) により、Aruba Central や、その他の Aruba ESP コンポーネントの迅速な導入をお手伝いします。Aruba AirWave から Aruba Central への移行は、すでに設定済みの移行サービスが用意されているため、スムーズに行えます。詳細については、Aruba 営業担当者までお問い合わせください。

また、テクノロジーの管理や、簡単な刷新または拡張サービスを提供するプロアクティブ・エンジニアリング・サービスにより、テクノロジーのライフサイクル全体において導入を最適化して価値を最大化することもできます。[詳細はこちら](#)。



表1 : Aruba Central 導入モデルの比較

	クラウド (SaaS)	オンプレミス	Aruba Central オンプレミスのインテリジェント・オペレーション
サーバー・アプライアンス			
サーバー・オプション	N/A	1、3、5、7サーバー・オプション	SOW ベース
サーバー・サポート	N/A	オプション	✓
ソフトウェア			
ライセンス・モデル	デバイス単位 (AP、スイッチ、ゲートウェイ)	デバイス単位 (AP、スイッチ、コントローラー)	SOW ベース
ライセンス期間	期限付き (1、3、5、7、10 年)	期限付き (1、3、5、7、10 年)	SOW ベース
ソフトウェア・サポート	✓	✓	✓
ネットワーク・デバイス			
拡張性	N/A	最大 25,000 台のネットワーク・デバイス	最大 25,000 台のネットワーク・デバイス
対応デバイス	Aruba IAP、スイッチ、ゲートウェイ	Aruba AP/IAP、スイッチ、コントローラー、コンダクター	SOW ベース
対応 OS	InstantOS、SD-WAN、AOS-S、AOS-CX	InstantOS、AOS6、AOS8、AOS-S、AOS-CX	InstantOS、AOS6、AOS8、AOS-S、AOS-CX
ハードウェア・サポート	オプション	オプション	オプション
主な機能			
AI インサイト	Wi-Fi、有線、SD-WAN	Wi-Fi 状態インサイト	Wi-Fi 状態インサイト
AI 検索	✓	N/A	N/A
AI アシスト/ライブ・チャット	✓	N/A	N/A
接触者追跡	✓	N/A	N/A
UXI 統合	✓	N/A	N/A
ダイナミック・セグメンテーション	✓	✓	✓
WAN サポート	SD-WAN/SD-Branch	N/A	N/A
API/Webhook	✓	✓	✓
その他			
プロフェッショナル・サービス	オプション	オプション	付属
マネージド・サービス・プロバイダー・モード	オプション	N/A	N/A



表2 : Aruba Central オンプレミス アプライアンス技術仕様

カテゴリー	Aruba Central アプライアンス (R1Q05B)	Aruba Central Ready AirWave 8 アプライアンス (R1Q04B)
システムの仕様		
CPU	2、20 コア Intel Xeon-Gold 6138、3.6 GHz、HPE DL360 Gen10	
メモリ	512GB	
ストレージ	2 x 2TB SSD または SAS HDD (4TB (RAID 0 構成))	4 x 1TB SSD HDD (2TB (RAID 10 構成))
スケーラビリティ		
マネージド・デバイス	最大 25,000 (7 ノード・クラスター)	
電源		
電源	500 W フレキシブル・スロット (FS) プラチナム・ホットプラグ電源	
電源	オプションの冗長電源	
AC入力電圧	110/220 V AC 自動選択	
AC入力周波数	50/60 Hz自動選択	
物理仕様		
ラックマウント	1U SFF 簡単設置レール 1U ケーブル管理アーム	
寸法 (高さ×幅×奥行)	4.29 x 43.46 x 70.7 cm (1.7 x 17.1 x 27.8 インチ)	
重量	最大 16.27 kg (35.9 lb)	
HPE SmartDrive	4 x LFF SAS/SATA/SSD、8 または 10 x SFF SAS/SATA/SSD	
ネットワーキング	内蔵 2 x 10GbE および 4 x 1GbE、10Gb 2 ポート 562SFP+ アダプター	
VGA/シリアル/USBポート	正面 VGA (オプション)、背面 VGA (標準)、シリアル (オプション)、5 x USB 3.0	
業界コンプライアンス	ASHRAE A3 および A4、低待機消費電力	
保証		
ハードウェア	部品 1 年間	
ソフトウェア	90 日間	



表3 : Aruba Central オンプレミスのインテリジェント・オペレーション

カテゴリー	提供サービス	説明
デイ0 & デイ1 サービス (戦略、評価、設計、導入の QuickStart Service)	設置	Aruba 提供の設計図に基づいたサーバー・インフラストラクチャのラックとスタック
	移行	Aruba 提供の設計図に基づく
	導入と構成	すべてのソフトウェアの導入と構成
	ナレッジ・トランスファー	高/低レベル設計ドキュメントを使用した顧客利害関係者向けのトレーニング
デイ2 サービス (継続的な管理と最適化を提供するインテリジェント・オペレーション サブスクリプション)	ソフトウェア・アップグレード	Aruba IT オペレーションによるメジャー、マイナー、パッチのアップグレード
	システム・ステータスとソリューション・パフォーマンス	プロアクティブな調整と最適化により障害を防止
	ハードウェア・ステータス	Aruba IT オペレーションによる 24 時間週 7 日ソリューション監視
	新機能の導入	毎月、専任お客様サクセス・マネジャーと共に使用状況を評価し、適切な変更の枠組みを設定

注：本データシートで紹介された機能には、一部の地域で現在提供されていないものもあります。Aruba Central の新しいソフトウェアのリリース時、世界の各プロダクション・クラスタの場所に応じて提供される時期が異なる場合があります。詳細については、[Aruba Central ヘルプ・センター](#)を参照するか、Aruba 営業担当者までお問い合わせください。